

無料
TAKE FREE

公式ガイドブック

OFFICIAL GUIDE BOOK

大分
アート
フェスティバル
2022

アート × 食 × まち歩き



OITA ART FESTIVAL 2022

2022

10/28(金) → 11/27(日)

会場：大分市中心市街地 各所 料金：無料

アーティスト

青トンカチ
Aotonkachi

穴井 佑樹
ANAI Yuki

岩澤 有徑
IWASAWA Arimichi

岩田 敦之
IWATA Atsuyuki

Electronica
Electronica

甲斐 扶佐義
KAI Fusayoshi

サバコ
Savako

塙 雅夫
HANAWA Masao

前田 哲明
MAEDA Noriaki

前田 亮二
MAEDA Ryoji

宮川 園
MIYAKAWA Sono

森 貴也
MORI Takaya

山本 豊子
YAMAMOTO Toyoko

吉野 辰海
YOSHINO Tatsumi

目次

- 1 — 大分市アートを活かしたまちづくり推進会議会長ごあいさつ
- 2 — 大分市アートを活かしたまちづくり推進会議名誉会長ごあいさつ
- 3 — 回遊劇場 AFTER ディレクターごあいさつ

- 4-5 — 企画概要
- 6-13 — アートステーション
- 14-15 — ウォールアート
- 16-19 — アートマルシェ
- 20-22 — アートイベント
- 23-25 — パブリックアート

- 26 — インフォメーション
- 27 — 大分市のアートスポット
- 28-29 — 大分市内のイベント情報
- 30 — アクセス
- 31-32 — MAP



ごあいさつ

大分市アートを活かしたまちづくり推進会議
会長 戸口 勝司

大分アートフェスティバル 2022 は「回遊劇場 AFTER」をテーマとしてコロナ禍の中で開催されます。芸術文化活動とコロナについては多くの議論が交わされてきました。自粛を求める意見もあれば、こんな時だからこそ積極的にという意見もありますが、芸術はそれ自体が自立した生命であるが故に、周囲の状況とは関わりなく、そのパワーやエネルギーは人々の心を癒やし、元気づけることができると信じています。

大分市は、古代から栄え続けてきた都ではありません。その時その時の時代の流れに翻弄されながら、小さな歴史を積み重ね、そうした歴史的背景の中で多様性豊かな文化と特に芸術の分野で多才な人材を育んできました。福田平八郎、高山辰雄、園田高弘、中山悌一という名前だけでも日本芸術史の中の奇跡のひとつです。

大分市という街の魅力のすべてを語り尽くすことは容易ではありませんが、アートを楽しむことはひとつの大きなきっかけになります。美術館やコンサートホールに足を運ぶのもよいことですが、大分アートフェスティバル 2022「回遊劇場 AFTER」の提供するプログラムに参加していただき、ヴィジュアルや食やパフォーマンスを通じて地域の息吹に触れていただけたらと思います。

ごあいさつ

大分市アートを活かしたまちづくり推進会議
名誉会長 大分市長 佐藤 樹一郎

大分アートフェスティバル 2022「回遊劇場 AFTER」にご来場いただき、誠にありがとうございます。全国各地から大分市にお越しの皆様を48万市民を代表して心から歓迎申し上げます。

本市ではアートを活かしたまちづくりを進めており、アートフェスティバル等のイベント開催を通じて、文化・芸術の持つ創造性を産業の振興や地域の活性化につなげる取組を行っております。

「回遊劇場」はこうしたアートの力を活用し、まちの魅力を新たに発見していただくために開催しており、今回は2018年、2019年に続き3回目の開催となります。

今年の「回遊劇場 AFTER」では、大分市中心市街地でのウォールアートやアートイベントをはじめ、まちなかの空きビルを拠点とするアートステーションでの作品展示の他、大分の豊富な食材を生かしたアートマルシェなど、アートと食が一体となって大分の魅力を全国に発信してまいりたいと考えております。

新たな文化・芸術との出会いが皆様をお待ちしておりますので、「回遊劇場 AFTER」で皆様のまだ知らない大分を発見し、お楽しみいただければ幸いです。

ごあいさつ

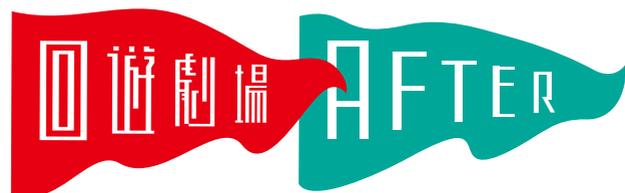
回遊劇場 AFTER ディレクター
菅 章

「アートを活かしたまちづくり」を推進している大分市では、これまで「おおい たトイレンナーレ 2015」、「回遊劇場～ひらく・であう・めぐる～」(2018年)、「回遊劇場 SPIRAL」(2019年)などの実施を通じて、まちの賑わい創出に努めてきました。

このたび3年ぶりに開催する「回遊劇場 AFTER」は、コロナ禍で疲弊した、まちの活気をとりもどすために、アートと食をテーマに掲げました。なくても困らないように見えるアート(本当は凄く必要)と、誰にとっても身近に必要な存在である食。魅力あるアートと美味しい食が結びつくことで、新たなまちの楽しみ方を探るのが今回のねらいです。

すでに役割を終えた歴史のあるビルをメイン会場に、アーティストの作品展示やワークショップ、食のイベント等を開催するとともに、まちなかに点在する特色ある飲食店をサテライト会場として、まちを回遊し大分の食とアートの出会いを楽しんでいただきます。また新たなウォールアートも完成し、都市のランドマークとして、劇場の舞台を演出します。

「回遊劇場 AFTER」がまちのこれまでの文脈と異なった新たな大分市の魅力を発信できるよう、皆様の参加をお待ちしています。



OITA ART FESTIVAL 2022

大分アートフェスティバル 2022

2022.10.28 Fri - 11.27 Sun 会場：大分市中心市街地 各所

「回遊劇場 AFTER」は、2019年に開催した「回遊劇場 SPIRAL」の続編となるアートフェスティバルです。大分市は、これまで「おおいたトイレナレー2015」や2度の「回遊劇場」などのアートフェスティバルの開催に加え、ウォールアートの設置などでアートを活かしたまちづくりをすすめてきました。「回遊劇場 AFTER」ではその成果を引き継ぎながら、コロナ禍で停滞したまちの賑わいを取り戻し、活力あふれるまちづくりを推進するとともに、新たなまちの魅力の発見を促すことを目指しています。

企画概要

大分市中心市街地を舞台に、「アートステーション」「ウォールアート」「アートマルシェ」「アートイベント」の4つの要素を軸にアートフェスティバルを展開します。これらをめぐってもらうことでまちの回遊性を高め、「アート」と「食」と「空間」が一体となって新たなまちの魅力を発信します。

アートステーション

Art Station

現在使用していないビル(NTT府内ビル別館)を活用し拠点とします。普段足を踏み入れることのない場所での未知との遭遇をお楽しみください。会期中は、「NTTアートシアター」という名称で、作品展示やイベントのほか、インフォメーションとして情報発信の役割を担います。

ウォールアート

Wall Art

招待アーティストに加えて、公募で選ばれた県内にゆかりのあるアーティストが、まちなかにある建物の壁面や商店街のシャッターに壁画を制作します。まちの拠点をつなぐ思いがけないアートとの出会いを演出します。

アートマルシェ

Art Marche

中心市街地の飲食店を会場として「アート」×「食」×「空間」によるコラボ企画を実施します。店舗とアートの出会いによりまちの新たな魅力を創出します。

アートイベント

Art Event

アーティストによるシンポジウム、トークイベント、ワークショップのほか、アートツアー、パフォーマンスなど市民が自ら参加し、楽しみながら文化芸術に触れられるイベントを開催します。

パブリックアート

Public Art

これまでに制作されたまちなかのパブリックな空間を彩るウォールアートをはじめとするアートの数々。「回遊劇場」の舞台となるさまざまな場所に点在するアートを巡ることによって都市の面白さや魅力を体感できます。

現在使用していないビルを活用し拠点とします。普段足を踏み入れることのない場所での未知との遭遇をお楽しみください。

会期中は、「NTTアートシアター」という名称で、作品展示やイベントのほか、インフォメーションとして情報発信の役割を担います。

メイン会場

NTT 府内ビル別館 (NTTアートシアター)

住所：府内町3-4-34

展示時間：10:00～18:00

※撮影・取材のため、10/28(金)のみ15:00までとなります。

NTT大分支店の拠点ビルのひとつとして稼働して来たが、2019年12月、拠点見直しにより空ビルとなった。もともとは、1927年に大分郵便局の電話分室として竣工したもので、大分市街地では数少ない現存する昭和初期のRC建築である。

この建物の持つ建築的な価値と空間の面白さがアーティストの感性を刺激し、展示会場としても魅力的であることから、今回特別に会場として使用させていただいた。



◎空間キュレーター



大分ゆかりの故・赤瀬川原平氏が名付けた藤森照信氏の素人による建築施工「縄文建築団」へのオマージュとして、「縄文建築団 塗装編」として、NTT府内ビル別館の空間づくりに取り組みます。「回遊劇場 AFTER」のメイン会場となることで、大きな変貌を遂げる大分市中心市街地の現在にあって、大分の方々の「街の記憶」としての「NTT府内ビル別館」を見つめ直す機会になれば嬉しいです。

松田 周作 MATSUDA Shusaku

建築家。1979年福岡県生まれ。熊本県立大学大学院環境共生学研究科を卒業。2012年大分市中心市街地・府内五番街の若竹ビルを拠点とする松田周作建築設計事務所を設立。大分県立芸術文化短期大学 非常勤講師(2019-)、大分大学 非常勤講師(2021-)。

◎出品アーティスト

青トンカチ

Aotonkachi

隣の幽体

トイレの個室には環世界が現れる。共有することのないこの時空間は些細な熱・音・光・匂いを伝達媒体とした幽体の存在により、まるでシャボン玉の様に幽かにゆらぎ、形を変える。



《隣の幽体》作品プラン 2022年



青トンカチ Aotonkachi

インスタレーション作家。山本理一郎(1994年兵庫県生まれ)とウメダタカヤ(1998年福岡県生まれ)を中心とした建築環境コレクティブ。クルーは全て平成生まれの若者。初作であるソリーハウスを原点に活動を展開。

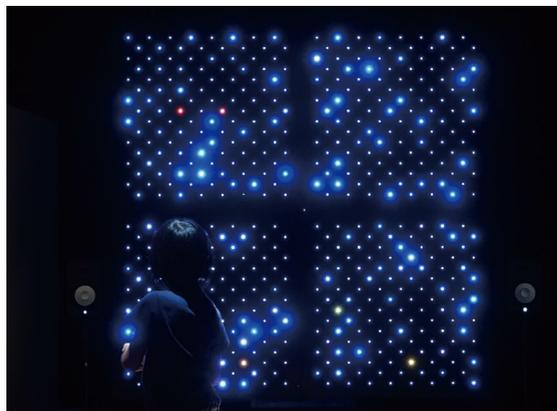
穴井 佑樹

ANAI Yuki

Re-filter

私達は、全てに自分の色を重ね、切り取り、解釈を施す。美しかったり、歪んでいた、あべこべだったりしながら、"そのまま"が重ならない中で、私達は同じ事実を共有している。

想像力を巡らし、自身のフィルターを剥がすことができれば、多くの真実を内包した多彩な世界を発見することができる。



《Re-filter》2021年



穴井 佑樹 ANAI Yuki

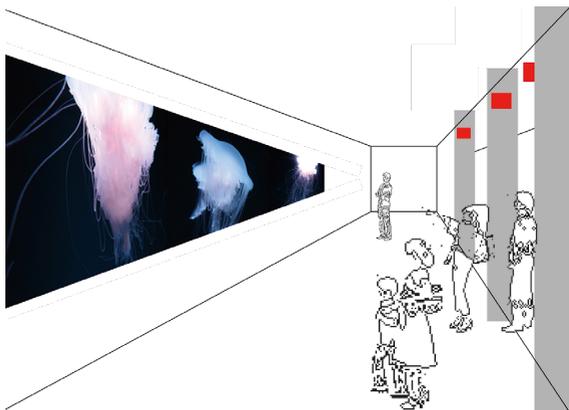
メディアアーティスト。1987年大分県生まれ。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科修了。「Nature is a medium」をテーマに、自然からの豊かなメッセージを、光や音を用いた繊細な技術により表現する。

岩澤 有徑

IWASAWA Arimichi

INDIVIDUALS MOVE 2022

デザインと映像、抽象画と具象画を学び、美術史上で役割の違いは、どこにあるのか、WEB上のあらゆる可能性も含め、その視点を考察することが私の生涯のテーマになっています。



《INDIVIDUALS MOVE 2022》作品プラン 2022年



岩澤 有徑 IWASAWA Arimichi

現代美術家。1958年京都府生まれ。1981年桑沢デザイン研究所グラフィック研究科卒、1989年B-semiスクール修了。映像と絵画を学び両方の視点を持つ発表を行う。東京、京都、韓国、奈良町現代美術館他で個展を開催し、2001年より「UNEASINESS」を国内外で18回主宰。

岩田 敦之

IWATA Atsuyuki

BUBBLEs! 夜のカラフル水族館

九州産業大学芸術学部の学生チームと制作を行なった映像投影による空間演出作品です。きらめくシャボン玉と水の中で楽しく過ごす魚たちをモチーフにカラフルな水族館の世界を表現します。

※プロジェクションマッピング実施日についてはP21をご参照ください。
※常設スペースでは、活動記録を展示しています。



《BUBBLEs! 夜のカラフル水族館》2022年 共同制作：紀野はるか他



岩田 敦之 IWATA Atsuyuki

デザイナー。1978年大分県生まれ。大学教員として、プロジェクションマッピングなどの作品制作や、ビジュアルコミュニケーションデザインの効果的な活用方法に関する研究に取り組む。

Olectronica

Sculptures on the floor

床や壁に意図せず遺された痕跡が面白いコンクリートの部屋。初めて目にした時からそのミニマルな空間の強さに惹かれた。「床」をテーマに制作を行い、空間や時間に新たな記憶と痕跡を刻む。



《Sculptures on the floor》作品プラン 2022年



Olectronica

加藤亮 (1984年大分県生まれ)、児玉順平 (1984年熊本県生まれ) による美術ユニット。2011年から「制作と生活」をテーマに表現手法にとらわれず幅広い分野で活動を展開。代表作は [wood figure][風景への参道] 等。

甲斐 扶佐義

KAI Fusayoshi

大分の誘惑

幼児期に獲得した大分駅周辺マップは15年前まで有効だった。今回の作品は古い地図なら撮影地は同定できる。この旧地図は幻になったのは寂しいが地元の方には馴染みの風景かもしれない。



《三世同堂》1976年



甲斐 扶佐義 KAI Fusayoshi

写真家。1949年大分県生まれ。1968年同志社大学入学、1972年伝説の喫茶店ほんやら洞開店。1985年パー八文字屋開店。2001年より連続的に欧米各地で招待個展開催。京都美術文化賞、パリ・ボザール展ジャン・ラヴィエール賞受賞。編著訳書・写真集約50冊。

サバコ

Savako

オーバーヘッド・ストーリー

宙には人の思考が浮遊している。たわいもないひとりごとでも重大な告白も同じように漂っている。行ったり来たりするのは何かの合図なのか、それともだれかの意思なのか。



《オーバーヘッド・ストーリー》作品プラン 2022年



サバコ Savako

彫刻家。1968年千葉県生まれ。2004年NY個展から国内外数々のグループ展に参加。2018年デンマークの彫刻公園にポップでユニークな作品が恒久設置される。2021～22年オーストラリア国際野外彫刻展に選出され、好評を博す。

前田 哲明

MAEDA Noriaki

UNTITLED 07-A UNTITLED 2022

私は、これまで作品のヴォリュームにかき消された内なる言葉をあらわすことに、かなり時間を要してしまっただ。今回、展示するなかで建物の内と外にその時の流れを表現したかった。



《UNTITLED 07-A》2007年



前田 哲明 MAEDA Noriaki

彫刻家。1961年東京都生まれ。東京藝術大学美術研究科博士課程満期退学。1997年文化庁芸術家在外研修制度研修員としてロンドンに滞在。2001年第19回現代日本彫刻展大賞受賞。2007年第13回本郷新賞受賞。おもに鉄を素材とした作品とドローイングを制作。

前田 亮二

MAEDA Ryoji

前田ロボ工房

幾何学模様が好きで、よくモチーフとして制作していました。その模様を組み合わせて、重ねていくとロボットになりました。そんなロボット達です。



《前田ロボ》2014年



前田 亮二 MAEDA Ryoji

染色作家。1974年愛媛県生まれ。2001年大分県立芸術文化短期大学美術専攻科(染色)修了。新作展 2002年初入選、2004・2006年作家賞受賞。染められた薄い生地(シルクオーガンジー)を重ねた奥行きのある作品を展開中。

宮川 園

MIYAKAWA Sono

光の庭

記憶の風景であり「アート×食×空間」の対話のための入口。祭壇。パフォーマンス「食べるポエム」は、ひと匙から想像する風景を味わってもらう。



《キッチンガーデン》2010年

※パフォーマンスの詳細については、別途公式ホームページや公式 SNSでお知らせします。



宮川 園 MIYAKAWA Sono

たべもの建築家。1987年熊本県生まれ。東京造形大学卒業後、大分県別府市へ移住。街のミュージアムショップや、自らのキッチンスタジオとギャラリーの運営を経て、飲食店「バサラハウス」を経営し、日々思い出を提供している。

森 貴也

MORI Takaya

3次元の絵画 ～重力と張力～

1階から屋上まで繋がる階段の表面積(面)と外周(線)を計測し、場を持つ情報を用いて空間に作品を生み出す。窓から差し込む光や、鑑賞者の影によって、作品の表情は刻一刻と変化する。



《THE FORCE》2021年



森 貴也 MORI Takaya

彫刻家。1981年熊本県生まれ。大分大学大学院教育学研究科教科教育専攻美術教育専修修了。第11回大分アジア彫刻展で大分県出身在住作家初の大賞を受賞。その他多くの賞を受賞する。「生きている彫刻」をコンセプトに作品を制作。

山本 豊子

YAMAMOTO Toyoko

宇宙時代の独身主義、さえも

1957年旧ソビエト連邦が打ち上げた人工衛星、「スプートニク(Sputnik)」にはじまる宇宙時代を旅する「独身者」の悦楽空間を構成します。四足のバスタブをはじめとする立体、平面、映像によるインスタレーションとなります。



《宇宙時代の独身主義、さえも》2008年



山本 豊子 YAMAMOTO Toyoko

美術家。1968年大分県生まれ。青山学院大学理工学部物理学科卒業。2000年「VOCA展」、2004年「資生堂ADSP」入選。架空の物語を元に立体、ビデオ、版画、ドローイングを制作。精神科病院でパブリックアートも手掛けている。

吉野 辰海

YOSHINO Tatsumi

SCREW 唐辛子犬 鼻ねじれ

出品作の2点は、どちらもねじれている。バケツの上に蹲居する顔をしかめた犬。寡黙な顔の頭に赤唐辛子を突き立てた犬。2点とも現在という時間と闘っている。



《SCREW 唐辛子犬》2011年 / 撮影 平野 到



吉野 辰海 YOSHINO Tatsumi

造形作家。1940年宮城県生まれ。1960年に前衛芸術グループ「ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ」に参加、発表を開始する。1980年代より生物の代表形として犬の表情を持つ作品を作り続ける。

●壁画



《見護る牡丹》2022年

埴 雅夫

HANAWA Masao

見護る牡丹

場所：キムラヤビル西側壁面（中央町3-6-10）MAP A

「花」は自然による美しさの究極の発露。そんな「花」がほんのりと空色を纏い街を見護る。世界は美しい場所だと思出すきっかけになるよう、固い建築物が柔らかく変容するように一輪の牡丹を描きました。



埴 雅夫 HANAWA Masao

画家・壁画家。イタリアで教会壁画の制作や修復に携わり、大型テーマパークでは壁画ディレクターを務めた。多くの映画・ドラマの美術制作に関わる。映画撮影所「東宝スタジオ」には『七人の侍』と『ゴジラ』の巨大壁画を制作。

●シャッターアート（公募作品）



《にじいろの水族館》2022年



こっちゃん Kotchan

イラストレーター。1993年大分県生まれ。本名は小島ひとみ。2021年よりイラストレーターとして別府、大分を拠点に活動。初の個展『にじいろ』から「にじいろこっちゃん」として呼ばれるようになる。虹を感じさせる作品が特徴。

こっちゃん

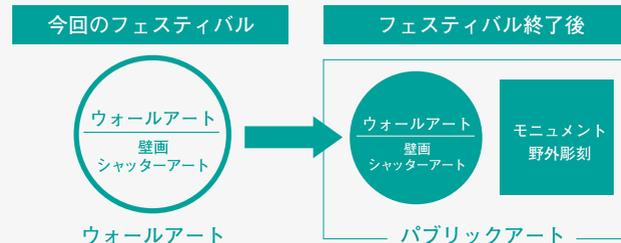
Kotchan

にじいろの水族館

場所：大^{だい}ビルシャッター（中央町1-3-12 中央町商店街内）MAP B

商店街の中に水族館があったら、何げない日常が少し特別なものになるかもしれない。水族館をテーマに、大きな海の生き物から小さな生き物まで見つける楽しさも含め、見た人が少し嬉しくなるような、そんな気持ちも込めて描きました。

パブリックアートとは、市民が自由に入出りできる（見ることができる）公共空間に設置される芸術作品。道路、広場、公園など屋外の彫刻や立体造形物、公共施設内に制作された壁画などをさします。今回新たに委託制作したウォールアート（シャッターアートも含む）も広い意味でのパブリックアートとしてストックされます。



中心市街地の飲食店を会場として「アート」×「食」×「空間」によるコラボ企画を実施します。
店舗とアートの出会いによりまちの新たな魅力を創出します。

※各店舗での鑑賞は飲食(有料)がともないます。
※店舗では他のお客様のご迷惑にならないよう、マナーを守って鑑賞していただきますようお願いいたします。
※各店舗は、全店禁煙となります。

Modern Chinese Restaurant OPERA

住所：都町2-1-7 アートホテル大分 1F [MAP](#) あ
TEL：097-538-8707 休業日：なし
営業時間：【ランチ】11:30～14:30 (L.O.14:00)
【ティー】14:30～18:00 (ドリンクL.O.17:30)
【ディナー】18:00～21:00 (料理、ドリンクL.O.20:30)



中華にフレンチテイストを加えた”進化系中国料理”や、海南鶏飯や OPERA ペーパーチキンなど、様々な文化がミックスされた料理をモダンな雰囲気の内店で楽しめます。

展示作家：岩澤 有徑 (現代美術家)
プロフィール→ P8

イシカワ珈琲

住所：府内町2-2-22 2F [MAP](#) か
TEL：090-9798-6768 休業日：水曜日 営業時間：9:00～18:00



「非日常の空間で珈琲と音楽を」「コーヒーに合うスイーツ」をコンセプトに、「丁寧な手仕事」にこだわった珈琲や、日替わりケーキを美術館のような落ち着いた空間で楽しめます。

展示作家：前田 哲明 (彫刻家)
プロフィール→ P11

撮影/大谷 良輔

TOMO Clover (トモクローバー)

住所：府内町1-4-22 おかべ12ビル102 [MAP](#) け
TEL：097-578-8089 休業日：水曜日・不定休
営業時間：【ディナー】18:00～22:00 (最終入店 20:00)
※しばらくランチ営業をお休みさせていただいております



あなたの”しあわせ”をつくり人生がより良い流れに変わるキッカケとなる幸運のフレンチレストラン。シェフこだわりの楽しいお料理を堪能できます。

展示作家：前田 亮二 (染色作家)
プロフィール→ P11

ビストロ俊

住所：府内町2-4-15 若竹ビル2F ふないアクアパーク側 [MAP](#) く
TEL：097-510-5563 休業日：不定休 営業時間：【月～土】18:00～23:30 【日】15:00～21:00



よりすぐりの自然派ワイン&クラフトビールとこだわりの一品料理をアラカルトで楽しめるお店。状況や好みに応じて、食や音楽(第3木曜日にはジャズライブも開催)を楽しむことができる心地良い空間です。

展示作家：森 貴也 (彫刻家)
プロフィール→ P12

AN/ON BURGER (旧：SHIRO BURGER)

住所：府内町2-4-15 若竹ビル104 [MAP](#) き
TEL：097-578-9776 休業日：日曜日及び不定休 営業時間：11:00～18:00 (L.O.17:45)



地元の安心安全な食材を中心に、オールハンドメイドで商品を展開しているお店。黒を基調にしたスタイリッシュな広い室内空間で、カジュアルなハンバーガーのイメージを変えてくれます。

展示作家：山本 豊子 (美術家)
プロフィール→ P13

10 COFFEE BREWERS

住所：中央町3-6-13 ロキシービル2F [MAP](#) [い](#)
 TEL：なし 休業日：不定休
 営業時間：【カフェ】11:30～21:30 【バー】20:00～23:00



「カフェと語学とカルチャーと。」をコンセプトにしているカフェ&バー。コンクリートに囲まれたオシャレな空間でフォトジェニックなドリンクが楽しめます。

展示作家：Olectronica (美術ユニット)
 プロフィール→ P9

婆皿よしたけ

住所：中央町3-5-16 wazawazaビル1F [MAP](#) [え](#)
 TEL：097-585-5949 休業日：日曜日(臨時休業あり)
 営業時間：【ランチ】11:30～14:00 (L.O.13:20)
 【ディナー】18:00～22:00 (ドリンク L.O.21:30)



和食職人が作る、フレンチやイタリアンの要素を取り入れた和食創作料理を提供するお店。オーナーこだわりのお料理やお皿、食器など五感でも楽しめます。

展示作家：Olectronica (美術ユニット)
 プロフィール→ P9

月の木

住所：中央町3-5-16 wazawazaビル1F [MAP](#) [う](#)
 TEL：097-532-1738 休業日：不定休
 営業時間：【月～土】18:00～22:00 (L.O.21:30) 【日・祝】18:00～21:00 (L.O.20:30)



地産地消にこだわった、大分県産の食材を使用し大分の新鮮な魚の食感や香りが楽しめるお店。落ち着いた雰囲気空間で鮓が堪能できます。

展示作家：サバコ (彫刻家)
 プロフィール→ P10

遊膳割烹 なか邑

住所：中央町3-1-11 姫野ビル102 [MAP](#) [お](#)
 TEL：097-534-6639 休業日：月曜日
 営業時間：【ディナー】17:00～23:00 (L.O.22:00)



落ち着いた雰囲気店内で創作料理が楽しめます。一品一品考え抜かれたお料理はどれも美しく、時間を忘れさせてくれます。

展示作家：サバコ (彫刻家)
 プロフィール→ P10

アーティストによるシンポジウム、トークイベント、ワークショップのほか、アートツアー、パフォーマンスなど市民が自ら参加し、楽しみながら文化芸術に触れられるイベントを開催します。

●シンポジウム

アートと食をめぐる旅

10月29日(土) 13:30 ~ 15:30

場所：NTTアートシアター
(NTT府内ビル別館・府内町3-4-34)

穴井 佑樹(メディアアーティスト)・岩澤 有徑(現代美術家)・埴 雅夫(画家・壁画家)・前田 哲明(彫刻家)・宮川 園(たべもの建築家)・山本 豊子(美術家)

進行：菅 章(本フェスティバル ディレクター)

回遊劇場と大分のアートシーン

11月26日(土) 14:00 ~ 16:00

場所：NTTアートシアター

青トンカチ(インスタレーション作家)・Olectronica(美術ユニット)・サバコ(彫刻家)・前田 亮二(染色作家)・森 貴也(彫刻家)

進行：菅 章(本フェスティバル ディレクター)

●アーティストトーク

大分の記憶と記録

10月30日(日) 10:30 ~ 12:00

場所：NTTアートシアター2階ワークショップルーム

登壇者：甲斐 扶佐義(写真家)×二宮 圭一(画家・ディレクター)

ネオ・ダダ 食とアートの原点

11月19日(土) 13:30 ~ 15:00

場所：アートプラザ 2階アートホール
(荷揚町3-31)

登壇者：吉野 辰海(造形作家)×菅 章(本フェスティバル ディレクター)

●アートツアー

ディレクターズツアー

本フェスティバルのディレクターである大分市美術館の菅館長がみどころを完全ガイド!

10月30日(日)

13:30 ~ 15:30頃(定員8名)

11月12日(土)

13:30 ~ 15:30頃(定員8名)

11月23日(水・祝)

10:00 ~ 16:00頃(昼食あり)

(定員6名)

集合場所：NTTアートシアター

※いずれも要予約(参加費無料・ただし要実費：飲食等)

ポールさんと まち歩きツアー

「おおいたトレンナーレ2015」や2度の「回遊劇場」で大活躍したボランティアガイドの”ポールさん”と一緒に作品を巡り、まちの魅力を再発見してみませんか。

11月3日(木・祝) 14:00 ~

11月13日(日) 14:00 ~

集合場所：NTTアートシアター

※予約不要(参加費無料・ただし要実費：飲食等)

大分路上観察学会ぶれぜんつ トマソン探偵団「回遊劇場」編

大分にゆかりの芸術家・赤瀬川原平の「路上観察学会」「トマソン」に倣い、県内でまちあるき型ワークショップをおこなう『大分路上観察学会』が、路上観察をしながら、作品を案内します。

11月6日(日)

13:00 ~ 16:30(定員15名:先着順)

集合場所：NTTアートシアター

※要予約(参加費無料・ただし要実費)
※歩きやすい服装・靴で、カメラを持ってください。
※参加希望者は、イベントタイトル、氏名、電話番号、参加人数を記入の上、oitaowi@gmail.comにお申し込みください。

●青トンカチ「残影と種」プロジェクト→(プロフィールはP7を参照)

他の世界との時空間を超えた触れ合いをテーマとした、路地とパブリックアートを巡る体験型の作品です。まちを回遊すると、点在する猫又が新たなまちの景色を見せてくれるかも!



●パフォーマンス

大分圏清掃整理促進運動会 トイレ清掃パフォーマンス

赤瀬川原平らが結成した前衛芸術グループ、ハイレッド・センターの首都圏清掃整理促進運動に倣い、「おおいたトレンナーレ2015」より活動をスタートした当会が本フェスティバルでも活躍!



11月10日(木) 17:00 ~ 17:40

場所：NTTアートシアタートイレ

●プロジェクションマッピング

デザイナーの岩田 敦之氏(P9参照)が九州産業大学芸術学部の学生チームと制作を行った映像投影による空間演出作品「BUBBLES! 夜のカラフル水族館」を披露します。

11月25日(金) 18:00 ~ 20:00 / 11月26日(土) 18:00 ~ 20:00

場所：NTTアートシアター中庭

※雨天・荒天の場合は投影中止とさせていただきます。

●マルシェイベント

NTTアートシアター中庭では、アートと食とまち歩きのキーステーションとして、さまざまなイベントを開催いたしますが、まちの賑わいを呼び込むため、マルシェやマーケット等を実施します。

アートマーケット(アートプラザ連携事業)

アートプラザで大人気のアートマーケットが本フェスティバルに登場! 大分県内のアーティスト・ものづくり作家の作品の展示や販売を行います。どうぞお楽しみに!!

10月30日(日) 10:00 ~ 15:00

場所：NTTアートシアター

出没☆イルミネーター

全身光り輝く衣装のアーティストが本フェスティバル会場に出没します。遭遇したら一緒に写真撮影を☆

11月26日(土)

17:00 ~ 20:00

アーティスト：日下 淳一



ふない ZAC祭 全食力~ ZAC 新たな時代へ~ (田北調理師専門学校連携事業)

田北調理師専門学校の学生が、学校を飛び出し、NTTアートシアターにて料理展示等を行います。学生のZ(ZEAL 熱意) A(ACTION 行動) C(CHALLENGE 挑戦)をぜひご覧ください。

11月3日(木・祝) 11:00 ~ 15:00頃

場所：田北調理師専門学校(府内町2-5-7)

ふないアクアパーク(府内町2-3)

NTTアートシアター

ワークショップ

大分市が進めるアートレジオン推進事業において、佐賀関と野津原の旧校舍アトリエで活動する大分在住のアーティストによるワークショップです。(参加費無料)

定員：各10名・要予約(先着順) ※参加される際は、汚れてもよい服装でお越しください。
場所：NTTアートシアター2階ワークショップルーム(NTT府内ビル別館・府内町3-4-34)

●11月5日(土)

疋田 武士 HIKIDA Takeshi

アートラベル

ボトルのラベルを作成することで、アートとは何か思考や想像を膨らませる体験をします。

10:30 ~ 12:00

参加対象：中学生以上
準備物：なし



沖 美紀 OKI Miki

『身近なワイヤーアート』~秋の葉っぱを表現してみよう~

一本の線から生まれるワイヤーアート。ラジオペンチで葉っぱを形どり、指先を使って表情をつけていきます。

13:30 ~ 15:00

参加対象：高校生以上
準備物：なし



●11月20日(日)

遠藤 ももこ ENDO Momoko

クリエイティブリユース [ON THE CANVAS]

着色したキャンバスに使われなくなったビーズやフェイクパール・ボタンなどをコラージュします。お部屋に飾れるサスティナブルな作品と一緒に作ってみませんか?

10:30 ~ 12:00

参加対象：高校生以上
準備物：なし



Kana

フレ〜! ふれ〜! フラッグ!

カラフルな布をペイントやカラー Джуして、お持ち帰り用と、JR大分駅に飾る大きなフラッグと一緒に作りましょう。

13:30 ~ 15:00

参加対象：小学生以上
(低学年は保護者同伴)
準備物：なし



●その他

会期中は、JAZZ コンサートや食のイベント、パフォーマンス等も開催予定です。

■イベント・ワークショップ等に関するお問い合わせ・お申し込み
NTTアートシアター 090-2617-3344

詳細は回遊劇場公式 SNS をチェック!

#回遊劇場 AFTER

回遊劇場 AFTER 検索



Instagram



Facebook



Twitter

これまでに制作されたまちなかのパブリックな空間を彩るウォールアートをはじめとするアートの数々。「回遊劇場」の舞台となるさまざまな場所に点在するアートを巡ることによって都市の面白さや魅力を体験できます。



トマリ アサミ TOMARI Asami

WE ARE HERE, BABY.

アーティスト。1993年宮崎県出身。大学卒業後、ニューヨークに1年ほど滞在し制作活動を開始。多種多様な人々が集まるニューヨークでの生活を通して「身体的特徴によらない人々の美しさ」や日本文化を意識した作品を描き始める。現在は大分市の旧野津原中部小学校を活用したアトリエに制作場所を設け、ペインティングとインスタレーションを中心とした作品を制作している。

福田ビルシャッター(中央町2-7-21) MAP 2



藤沢 さだみ FUJISAWA Sadami

溶けていくバターの上で

イラストレーター。1974年大分県生まれ。大分大学教育学部小学校教員養成課程美術科卒業後、同大学大学院修了。企画会社のデザイナーを経て、2001年独立。企業広告のイラストレーション・グラフィックデザインを手掛ける。動物をモチーフにした作品を制作し個展などを通じて発表を続けている。

(株)忠文堂シャッター(中央町2-6-33) MAP 5



前田 信明 MAEDA Nobuaki

2021 OITA PROJECT-VERTICAL AND HORIZONTAL

美術家。1949年熊本県生まれ。中学・高校の教諭を経て、九州産業大学造形短期大学部特任教授を務めた。自らが立つ大地によって、重力という垂直性、地平・水平線という世界が続いていく感覚。その広がりの空間による純粋抽象を一貫して追究。GALLERY SHILLA (テグ・ソウル/韓国)の所属作家として国内外で個展開催、企画展に多数参加。

府内わっぱ食堂東側壁面(府内町3-2-25) MAP 10



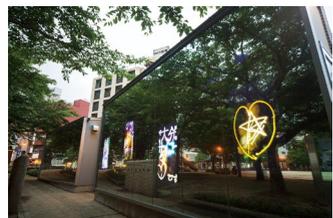
snipe1

aALGORITHM

アーティスト。1974年東京都生まれ。NYグラフィティ界に10代で身を投げ、世界中のグラフィティコミュニティを巡りコネクションを築いた後に帰国。ストリートカルチャーの感性に基づきながらも、グランジとも言うべき「汚さ」のエッジを取り入れた、ダーティ且つ誰にも似ない独自スタイルを貫く。

若竹ビル西側壁面(府内町2-4-8) MAP 11

◎おおいたトイレナーレ 2015 作品



トーチカ《トイレのラクガキ》
場所：若草公園 (中央町2-4)
MAP 6

◎地下道アート



鈴木ヒラク《点が線の夢を見る》
場所：大分市中央通り線地下道
MAP 8

◎回遊劇場～ひらく・であう・めぐる～壁画作品



谷川広人《廻る》
場所：親進舎ガレージ
(中央町3-2-21) MAP 3



宮崎勇次郎《NEW WORLD 府内富士》
場所：金剛ビル(府内町2-6-14)
MAP 12



芳賀健太
《ゆめつくり虫～DOROBACHI STORY～》
場所：岩尾ビル (中央町2-6-23) MAP 4

◎回遊劇場 SPIRAL 壁画作品



井川 惺亮《Peinture》
場所：小鹿公園トイレ壁面 (末広町2-3-13)
MAP 7



大平 由香理《時を遊ぶ》
場所：ふないアクアパーク南側溝口ガレージ壁面
(府内町2-3)
MAP 14



国本 泰英《Scene》
場所：Bスクエアビル西側壁面
(府内町1-6-43)
MAP 15



かおなしまちす《歌舞伎》
場所：なかの座シャッター
(中央町3-6-2 ガレリア竹町内)
MAP 1

◎彫刻

場所：遊歩公園 (大手町2)



朝倉文夫《瀧廉太郎君像》
MAP 16

場所：JR 大分駅



朝倉文夫《青年像》
MAP 18



富永直樹《大友宗麟公》
MAP 17



北村西望《健ちゃん》
MAP 13



安藤 泉《遊星散歩》
MAP 19



佐藤忠良
《聖フランシスコ・ザビエル像》
MAP 9



原口典之《重力》
MAP 20

インフォメーション

回遊劇場 AFTER インフォメーション

会期中は下記のインフォメーションにてご案内と情報発信を行います。

NTTアートシアター (NTT 府内ビル別館)

住所：府内町3-4-34 [MAP](#) 

営業時間：10:00～18:00 会期中無休 TEL：090-2617-3344

大分市観光案内所

住所：要町1-1 (JR大分駅構内) [MAP](#) 

営業時間：8:30～19:00 年中無休

めぐりかた

バスでめぐる

大分キャンバス

ワンコイン100円でJR大分駅からまちなかを通り、市美術館、県立美術館を結ぶ大分市中心市街地循環バス「大分キャンバス」が便利！



お問い合わせ：大分市都市交通対策課 TEL: 097-578-7795

自転車でめぐる

おおいたサイクルシェア

中心市街地の各所にサイクルポートを設置。ポート間であればどこでも自転車を返却ができる新しい交通手段です。



お問い合わせ：大分市都市交通対策課 TEL: 097-537-5973

大分市のアートのスポット



アートプラザ

〒870-0046 荷揚町3-31
TEL: 097-538-5000 FAX: 097-538-5060

開館時間 9:00～22:00

ただし2Fミュージアムショップは17:00まで
磯崎新建築展示室は18:00まで

休館日：年末年始(12月28日～1月3日)

※イベントが開催される場合は開館

アートプラザは、大分市出身の世界的建築家・磯崎新氏の設計により「大分県立大分図書館」として1966年に完成。1998年、市民のための文化情報の交流の場「アートプラザ」としてリニューアルし、文化・芸術の拠点として市民に親しまれています。



大分市美術館

〒870-0835 大字上野865

TEL: 097-554-5800 FAX: 097-554-5811

開館時間 10:00～18:00 (入場は17:30まで)

休館日：毎週月曜日(祝日・休日の場合は翌日)

※第1月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館

(ただし、特別展会期中の火曜日は開館)

緑豊かな上野丘子どものもり公園内にあり、年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できるコレクション展や、さまざまな分野の芸術を紹介する特別展、各種講座の開催など、子どもから大人までだれもが楽しめる美術館です。



大分県立美術館

〒870-0036 寿町2-1

TEL: 097-533-4500 FAX: 097-533-4567

開館時間 10:00～19:00

※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分まで)

休館日：原則無休(館内点検等による臨時休館を除く)

大分市中心部、駅から徒歩15分。コンセプトは「出会いと五感のミュージアム」。異文化を受け入れ発展した大分県の文化風土にちなんだ企画展のほか、約5,000点の所蔵作品から厳選したコレクション展を開催します。



OITA EVENT INFORMATION

大分市内のイベント情報

会期中、市内ではさまざまなイベントを開催しています！

おおいたマルシェ

11月12日(土) / 11月13日(日)

10:00～16:00

大分いこいの道広場

大分の食や地産地消をテーマとしたイベント「おおいたマルシェ」。新鮮野菜をはじめ、地元農林水産物を使用した総菜、スイーツなどの加工品の販売を行います。

お問い合わせ：大分市農政課 TEL：097-537-7025



Oita Birth 大分市ブランドフェア in トキハ本店

11月15日(火)～11月29日(火)

10:00～19:00

トキハ本店地下2階

大分市の地域資源を活用した魅力ある加工品である、大分市ブランド「Oita Birth」の認証加工品を販売するフェアを開催します。

お問い合わせ：大分市農政課 TEL：097-537-7025



スイスフェア

11月19日(土)

11:00～14:00

お部屋ラボ祝祭の広場

本市の共生社会ホストタウンであるスイス連邦の取組を皆さんに知っていただくことを目的に、スイス文化の紹介や(公財)アルゲリッチ芸術振興財団推薦アーティストによる演奏のほか、さまざまなブースを展示します。

お問い合わせ：大分市障害福祉課 TEL:097-537-5785



特別展「生誕130年 福田平八郎と大分の日本画家たち — 首藤雨郊・高倉観崖・牧皎堂」

9月30日(金)～11月20日(日)

10:00～18:00

休館日：10月11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)、11月14日(月)

大分市美術館

生誕130年を迎えた福田平八郎をはじめ福田と交流のあった現・大分市出身の日本画家首藤雨郊(しゅうとうこう)・高倉観崖(たかくらかんがい)・牧皎堂(まきこうどう)の作品と資料を紹介します。

お問い合わせ：P27 参照



企画展「大本山 相国寺と金閣・銀閣の名宝」

11月26日(土)～2023年1月22日(日)

10:00～19:00

※ 金・土曜日は 20:00 まで

(入場は閉館の30分前まで)

休展日：12月26日(月)

大分県立美術館

禅画や墨蹟、唐物や茶道具などの美術工芸品の他、雪舟、長谷川等伯、円山応挙、伊藤若冲、本阿弥光悦、野々村仁清、尾形乾山ら室町から江戸期の巨匠の名品、さらには日田市出身の日本画家・岩澤重夫の金閣寺客殿障壁画まで、選りすぐりの寺宝を紹介します。

お問い合わせ：P27 参照



円山応挙《牡丹孔雀図》相国寺蔵 重要文化財
11月26日～12月25日展示

大分市へのアクセス



飛行機

大分空港から大分市中心市街地までは空港バスをご利用ください。

就航路線

- 東京 (羽田)、千葉 (成田)、大阪 (伊丹)、名古屋 (中部国際)
- 空港特急バス「エアライナー」大分空港から約 1 時間



列車

大分市中心市街地へは、JR 大分駅が最寄駅です。

日豊本線

- 特急「ソニック」博多駅から約 2 時間
- 特急「にちりん」宮崎駅から約 3 時間
- 普通列車 別府駅から約 13 分

久大本線

- 特急「ゆふ」「ゆふいんの森」久留米駅から約 2 時間 30 分



船

大分市中心市街地にアクセスの便利なフェリー発着所は 3 か所あります。

- 別府国際観光港 (フェリーさんふらわあ・宇和島運輸フェリー)
- 西大分港フェリーターミナル (フェリーさんふらわあ)
- 佐賀関港 (国道九四フェリー)



車

大分市中心市街地へは、東九州自動車道「大分 IC」から車で約 10 分です。

- 福岡市・博多から約 2 時間 15 分
- 北九州市から約 1 時間 45 分
- 熊本市から約 2 時間 45 分
- 宮崎市から約 2 時間 45 分

大分県外からの高速バス、特急バスは「中央通り」で下車。

- 「とよのくに スーパーノンストップ」博多駅から約 2 時間 30 分
- 「サンライト」長崎駅から約 4 時間
- 「やまびこ」熊本駅から約 4 時間



主催：大分市アートを活かしたまちづくり推進会議

特別協力：NTT 西日本 大分支店

連携協力：Art Table いろいろわ アートプラザ 大分圏清掃整理促進運動会

大分大学 理工学部 建築計画研究室 大分路上観察学会 田北調理師専門学校
松田周作建築設計事務所

後援：大分県 大分合同新聞社 朝日新聞大分総局 読売新聞社 毎日新聞社

西日本新聞社 共同通信社大分支局 時事通信社大分支局 日刊工業新聞社

NHK大分放送局 OBS大分放送 TOS テレビ大分 OAB大分朝日放送

エフエム大分 J:COM大分ケーブルテレコム 月刊・シティ情報おいた

大分市商店街連合会

お問い合わせ：大分市アートを活かしたまちづくり推進会議 事務局

(大分市商工労働観光部商工労政課内)

TEL.097-537-5959 / FAX.097-533-9077

MAIL: toilennale@city.oita.oita.jp

詳細は回遊劇場公式 SNS をチェック！

#回遊劇場 AFTER

回遊劇場 AFTER

検索



Instagram



Facebook



Twitter